

第9回 韓国川の日安東大会 活動報告

府立高津高校 2年 朱 鎬永

1. はじめに

私たち高津高校生物研究部では、大阪城内濠のプランクトンを1977年から断続的にではありますが、30年間にわたり調査を続けています。それが認められ、2006年度から「日韓青少年交流プログラム」に招待されるようになりました。

日本と韓国の両国では、川や水辺での環境活動が盛んに展開されており、若い世代においても様々な取り組みが行われています。また、日韓両国は、気候や風土、文化などの面において多くの共通する環境で暮らしており、ゴミ問題や大気汚染、水質などのテーマにしても同じ問題を共有しているということができます。

この「日韓青少年交流プログラム」は、日本と韓国におけるそれぞれの活動や研究の成果を発表し、伝統文化のプログラムなどに参加することで両国の若い世代の交流を促進することを目的に行われています。

2. これまでの経緯

2007年8月

韓国晋州にて交流プログラムが開催され、本校の部員1名が参加しました。

2008年8月20日～24日

韓国羅州「江の日」大会との共催で、交流プログラムや、研究成果の発表を行いました。部員1名とOB1名が参加しました。

2009年

新型インフルエンザが流行し取りやめました。

2010年8月27日～29日

韓国安東市河回村「川の日大会」に、本校より私とOB1名が参加しました。

※なお、経費については韓国と日本の共同事業として各種援助金が充てられています。

3. 安東市河回村の説明

安東市河回村は2010年7月31日にユネスコによって世界文化遺産に登録された。河回村は豊山柳氏による同族集落として存続してきた。豊山柳氏宗家（柳雲龍の末裔）の屋敷である養真堂や、柳成龍の住居であった忠孝堂など、両班（韓国の貴族階級）の暮らしを窺うことのできる韓国伝統の瓦葺き造りの家を中心とした藁葺きの家が円形に配置し並んでいるのが印象的だ。また、仮面の踊りなどの無形文化財でも有名だ。

4. 河川コンテスト

韓国各地から河川環境保全活動を行っている団体が青少年環境活動事例、環境教育事例、官民ガバナンス事例、生態保全事例に分かれて本選で発表する事例を選抜する。選考には専門家や安東市議会議員が選考する。選考方法は公開発表、公開討論、公開審査の順に行われる。

5. 回龍浦視察

回龍浦は河回村の村名の由来となる地名である。
洛東江水流系の乃城川が 350° 村の周辺を流れている。
村は陸繋島のような地形を形成している。この S 字型河川は世界でも珍しい河川形態である。
下写真の A 地点は飛龍山である。



回龍浦上空写真



飛龍山 (A 地点) からの写真

6. 感想

今回の韓国川の日大会に参加した高校生は私一人だけでしたが、とても充実した 3 日間を過ごせたと思います。印象に残ったことは、韓国では世代の隔たりなしで環境問題への意識が高かったことです。環境問題への取り組みにより積極的に活動したいと思いました。最後になりましたが、本校生物部を招待していただき、また韓国でも大変お世話になった全国水環境交流会、河川再生ネットワークの方々などに深くお礼申し上げます。

7. 謝辞

山道省三 NPO 全国水環境交流会いい川・いい川づくり実行委員会事務所
朴恵康 三重大学
赤松祐造 和光自然環境を守る会
上野恭男 東京都北多摩南部建設事務所
神谷博 野川流域連絡会
左村公 協和コンサルタント
中川清史 野川流域連絡会
堀田崇 大阪市立大学 (高津高校生物研究部 OB)
峯松正雄 和光自然環境を守る会
山口徳雄 柳川水の会

8. 参考文献ならびに参考 Web ページ

<http://www.osaka-c.ed.jp/kozu/ssh/2010andon.pdf>